



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1308 2022年5月16日

5月15日～6月15日は「情報通信月間」です

2022年度の情報通信月間は、「デジタル変革で創ろう 変えよう 暮らしと社会」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として実施されます。ARIBは、情報通信月間行事として「電波の日記念講演会（6月3日）」（Webにて申込受付中）、「周波数資源開発シンポジウム2022（7月8日）」（予定）を開催します。

ARIBの動き

ITU-R SG7 関連会合における宇宙天気センサ及び時刻標準関係の概要報告

SG7 (Study Group 7) 傘下の専門家会合には、リモートセンシングを扱う WP7C (Working Party 7C) と標準時及び標準周波数の通報を扱う WP7A (同 7A) があります。これまで2年近く Web 会議で開催されてきましたが、今回は、欧州における新型コロナウイルス感染症の収まりを受けて、対面会議に Web 会議を併用した形式での開催となりました。

1. 会合の概要

日 程： 2022年4月26日（火）～5月6日（金）

場所・形態： スイス・ジュネーブ（ITU 本部）（Web 会議併用）

参 加 者： 各国、各団体から約 290 名（日本からは、総務省 基幹・衛星移動通信課 戸田分析官を団長に 23 名、当会から横山次長が参加。）

2. 宇宙天気センサに関する主要結果

太陽活動は、航空無線、電力網、通信・放送・測位システムなどの社会インフラに異常を発生させ、我々の社会経済活動に多大な影響を与える恐れがあります。太陽活動やその電離圏・磁気圏等への影響の観測は、地上及び宇宙に設置された宇宙天気センサによって行われます。しかし、宇宙天気センサに用いられる周波数帯では、国際的な周波数使用の枠組みを定める無線通信規則は用意されておらず、保護するための国際的な基盤がないことが課題となっています。このため、次回の世界無線通信会議 WRC-23 では、宇宙天気センサの適切な認知と保護が議題に盛り込まれ、宇宙天気センサに関する審議を行うことと

なりました。

WP7C では、この WRC-23 に向けた技術的な準備検討が行われており、今回合合では、宇宙天気センサは広義の気象観測に含め得るとして、新たに「宇宙天気用気象援助業務」なる無線通信業務を新設するとの素案が取りまとめられました。また、WRC-23 では、この新たな無線通信業務や宇宙天気の定義について審議することとし、具体的な周波数帯や他業務との共用については、その次の WRC-27 に向けて検討していくとの方向性が示されました。

3. 時刻標準に関する主要結果

現行の協定世界時（UTC）は国際単位系に基づく時刻であり、地球の自転に基づく時刻（UT1）との差が±0.9 秒以内になるようにうるう秒を挿入して調整しています。しかし、うるう秒挿入は不定期に発生し、その都度さまざまな社会インフラシステムの時計を 1 秒ずらさなければなりません。これは、単に不便であるだけでなく、時刻が不連続となるため、高度に進展した ICT に対して不具合を引き起こす恐れがあります。このため、2015 年に開催された WRC-15 において、うるう秒調整を廃止することも含め、UTC の見直しが審議されました。しかし、成案を得ることができず、WRC-23 で再審議することとなりました。

WP7A では、WRC-23 での審議に資するべく、メートル条約関係の国際機関等と協力して UTC の将来に関する報告書を作成しています。今回合合では、不連続のない時刻標準を導入した場合の利点、欠点などについて報告書案の内容が更新されました。

4. 次回合合スケジュール

次回 SG7 関連合合は、2022 年 9 月 26 日～10 月 7 日に開催される予定です。

今週の ARIB 内会合（5 月 16 日～5 月 20 日）

5 月 18 日（水）：デジタル放送システム開発部会 映像符号化方式作業班	Web 会議併用
5 月 18 日（水）：電磁環境委員会 第 44 回委託研究 WG	Web 会議
5 月 19 日（木）：第 295 回業務委員会	Web 会議併用
5 月 19 日（木）：デジタル放送システム開発部会 多重化作業班	Web 会議
5 月 19 日（木）：第 93 回 DiBEG 会議	Web 会議
5 月 20 日（金）：スタジオ設備開発部会 次世代音響スタジオ規格 TG	Web 会議

今週の国際合合（5 月 16 日～5 月 20 日）

参加を予定している合合はありません。

**「Beyond 5G に向けた情報通信技術戦略の在り方」報告書（案）
についての意見募集**

【令和 4 年 5 月 6 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 技術戦略委員会（主査：相田 仁 東京大学大学院 工学系研究科 教授）は、「Beyond 5G に向けた情報通信技術戦略の在り方」報告書（案）を取りまとめました。

本報告書（案）について、令和 4 年 5 月 7 日（土）から同年 6 月 6 日（月）までの間、意見募集を行っています。

[概要]

情報通信審議会 情報通信技術分科会 技術戦略委員会では、強靱で活力のある 2030 年代の社会を目指して、あらゆる産業や社会活動の基盤となる次世代の情報通信インフラ「Beyond 5G」に向けた研究開発戦略及び知財・国際標準化戦略の具体化等を行うため、「Beyond 5G に向けた情報通信技術戦略の在り方（令和 3 年 9 月 30 日付け諮問第 27 号）」について検討を行ってきました。

今般、同委員会において「Beyond 5G に向けた情報通信技術戦略の在り方」報告書（案）を取りまとめましたので、令和 4 年 5 月 7 日（土）から同年 6 月 6 日（月）までの間、意見募集を行うものです。

詳細については [【令和 4 年 5 月 6 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見公募
－ 関東地域における臨時災害放送局に関する審査基準の改正 －**

【令和 4 年 5 月 11 日発表】

総務省は、放送大学の FM 放送跡地（77.1MHz 及び 78.8MHz）を臨時災害放送局等に利用できるようにするため、電波法関係審査基準（平成 13 年総務省訓令第 67 号）の一部を改正する訓令案を作成しました。

本件について、令和 4 年 5 月 12 日（木）から同年 6 月 10 日（金）までの間、意見を募集しています。

[改正の概要]

令和 4 年 3 月に放送用周波数の活用方策に関する検討分科会（分科会長：伊東 普 東京理科大学 理工学部 嘱託教授）において「放送用周波数の活用方策に関する取りまとめ（放送大学の地上放送跡地及び V-Low 帯域）」が公表されたことを踏まえ、放送大学の FM 放送跡地（77.1MHz 及び 78.8MHz）を、関東地域における臨時災害放送局等に利用できるようにするため、電波法関係審査基準の一部を改正するものです。

詳細については [【令和 4 年 5 月 11 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会報告書（案）」
に対する意見募集**

【令和4年5月12日発表】

宇宙天気予報に関して分野横断的な検討会を開催することにより、国家としての観測・分析能力や対処の在り方等について検討するため、令和3年度から「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会」を開催しております。

今般、本検討会の報告書（案）をとりまとめましたので、本案について、令和4年5月13日（金）から同年6月13日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和4年5月12日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

「2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方」答申（案）に関する意見募集

【令和4年5月12日発表】

情報通信審議会 情報通信政策部会（部会長：森川 博之 東京大学大学院 工学系研究科 教授）は、5月11日、「2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方」について答申（案）を取りまとめました。

本答申（案）について、令和4年5月13日（金）から同年6月13日（月）まで意見募集を行っています。

[概要]

情報通信審議会は、令和3年9月30日、総務大臣から「2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方」について諮問を受けたことを踏まえ、情報通信政策部会及び総合政策委員会において検討を行ってきました。

5月11日に開催した第58回情報通信政策部会において、答申（案）を取りまとめたことから、本答申（案）について意見募集を行うものです。

詳細については [【令和4年5月12日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

技研公開2022「技術が紡ぐ未来のメディア」開催

日本放送協会

NHK放送技術研究所（技研）は、最新の研究開発成果を一般に公開する「技研公開2022」を、5月26日（木）から29日（日）まで開催します。ホームページ上のオンライン開催に加えて、技研で実際に展示をご覧いただくリアル開催を予定しています。

「技術が紡ぐ未来のメディア」をテーマに、新たな視聴体験をもたらす3次元映像技術、放送・通信などの伝送路を意識せずにコンテンツを楽しむ技術、撮像・表示技術の基礎研究など、16件の研究開発成果を紹介します。

技研所長によるオープニング講演のほか、研究員が研究内容を分かりやすくプレゼンテーションする「ラボトーク」や、外部識者を招いての「特別講演」を予定しています。

リアル開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全事前予約制として入場者数を制限します。



予約方法や最新の情報については技研公開2022ホームページをご覧ください。

- 開催期間： 5月26日（木）～5月29日（日） 午前10:00～午後5:00
- リアル開催会場： NHK放送技術研究所（東京都世田谷区砧）
- オンライン展示サイト： 技研公開2022ホームページ
<https://www.nhk.or.jp/strl/open2022/>



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン開催のみとする場合もあります。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp